



HPAI Alert Vol.7

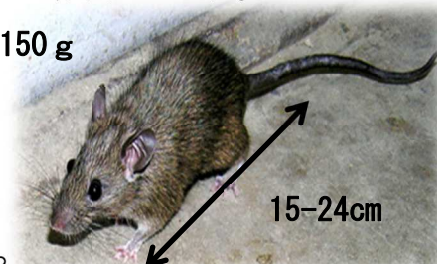
岩手県北鳥インフルエンザ警戒情報

「ネズミ対策に重要なこと」とは！

～エランコテクニカルセミナー2018 ネズミ対策より～

今年1月香川県での発生農場の疫学調査結果より、ネズミを介した侵入のリスクが改めて指摘されました。そこで、特徴と対策のポイントを紹介します。

体重 150 g



鶏病研究会報第49巻第4号より

・ 駆除が難しいクマネズミ

養鶏場で見られるクマネズミは、ハツカネズミ、ドブネズミと比べ、慎重な性格で行動が立体的そのため駆除が困難なため最も被害（苦情）数が多い。

・ 駆除と環境整備の組み合わせが重要

定期的な駆除だけでは不十分で、侵入経路の遮断、鶏舎内及び周辺の整理整頓（不要な資材を置かない、除草等）による営巣場所の除去が重要。

・ 対策は継続すべし

対策を止めるとすぐに増加。ネズミは一朝一夕には減少しないが、長期的な対策により効果が現れます。

「対策に見合った成果を信じて継続することが大事！」

兵庫県のカラスからウイルス検出



NEWS

3月、兵庫県伊丹市の公園で、死亡した複数のカラス（59羽回収）から、H5N6亜型のHPAIウイルスが検出されました。この公園は、関西でも屈指の渡り鳥の飛来地として知られ、ウイルス感染した野鳥を介しての感染と考えられます。

依然、国内にウイルスが存在することが改めて示されたことから、周辺に水場がある場合はもちろん、留鳥や野生動物のリスクを再認識し、侵入防止対策の徹底を継続しましょう。

渡り鳥の北帰行の時期を迎え、これからが正念場！

みんなでまもろう！養鶏産地県北



目指します!! 家畜の健康と安定した畜産経営

岩手県県北家畜保健衛生所・岩手県北家畜衛生協議会

TEL 0195-49-3006

TEL 0195-49-3040